

平成25年度 地域の元気づくり事業報告書

鏡野町老人クラブ連合会

<p>① 地 域 の 概 況</p>	<p>本町は岡山県の北部に位置し、人口13,094人、面積は419,69km²で北は鳥取県に、東及び南は津山市に、西は真庭市に接している。 地勢は、鳥取県との県境をなす中国山地南西傾斜地や平坦肥沃な準平原地である。 農作物は水田が約1,710haで、農業就業者の高齢化も進んでいる。森林面積は37,080ha余で、林業従事者の確保・育成が大きな課題である。 少子高齢化が進み、高齢化率が33.89%を超えているなか、先人の生活・文化や行事の継承など、文化性豊かな町づくりを進めていくことも必要である。</p>	
<p>② 活 動 状 況</p>	<p><芳野老連> 芳寿大学研修会（成人病について）実施 お飾りづくりの実施 <大野老連> お飾りづくりの実施 <小田老連> お飾りづくりの実施 とんと祭の実施 <香北老連> 輪投げ大会の実施 <郷老連> お飾りづくりの実施 とんと祭の実施 <久泉老連> グラウンドゴルフ大会の実施 <羽出老連> お飾りづくりの実施 <奥津老連></p>	<p>参加者数 170人 95人 73人 42人 84人 98人 80人 69人 42人 106人 参加者数</p>

	<p>カローリング交流会の実施 <上齋原老連> お飾りづくりの実施</p>	24人
	<p><富老連> お飾りづくりの実施</p>	41人
		45人
③ 活動の 効果	<p>地域のお年寄りと触れ合うことができ、有意義だった。 地域の子供たちとふれあうことができ、有意義だった。 「お飾り作り、交流会などで地域のお年寄りと子供たちのふれあい ができ、お互いにどこの子供か、お年寄りかがわかるようになり親 近感が生まれたと思う。お飾りは何のためにお正月に飾るのかと、昔 の知識で教えた。 低学年には難しかったようであるが極力子供たちにさせた。高学年 は毎年しているので立派なのが多くできていた。ほめてやると、大 変嬉しそうであった。何事にも自信がつき、良いのではと思えた。将 来を担ってくれる子供たちと思う時、皆がわが孫のように思える。 子供にとっても我が家の年寄りのような親近感、信頼感が得られれば 最高だと思える。保育園はお年寄りが来るということを大変喜んで 待っていてくれた。三つ組みのお飾りを作ったが、案外上手にできて いた。簡単にお飾りの話をした。よく聞いていた。吸収力はたいした ものだった。」</p>	
④ 課題 ・ 問題 点	<p>お飾りは何のためにお正月に飾るのかと、正しい意義を教える必要 がある。地域の日本の伝統文化を教える一つの課題である。 できるだけ、手助けをせずに子供にやらせることが必要で、よくで きたなーとほめてやることが大変良いと思った。 保育園児もよく、きまり正しくやっていたのは感心。できるだけひ とりでやらせる努力が必要だと思った。大切な年頃と思う。まずは、 園児たちとのふれあいからか。 年長組みのプライドか、しっかりやるなと感じた。</p>	

⑤ 今 後 の 進 め 方	「今後も継続して取り組む予定。 老人クラブの方たちも遠慮なく子供たちとふれあい、成長に役立つ活動は大きな活動の一つと思える。」
---------------------------------	--